Plusidea ベーシックメニュー

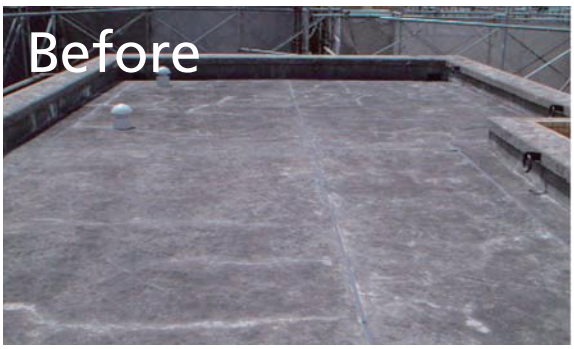
屋上防水工事

Q 屋上の防水って、修繕が必要なの？

A 屋上の防水は、雨、風、日差しの厳しい環境にさらされるので、常にケアが必要です。

屋上つまり平らな屋根は、防水が重要です。屋上の防水層の劣化は、住戸の漏水につながります。大切な資産を守り続けるために、劣化による漏水が発生する前に充分な修繕が必要です。

こんなに良くなります！



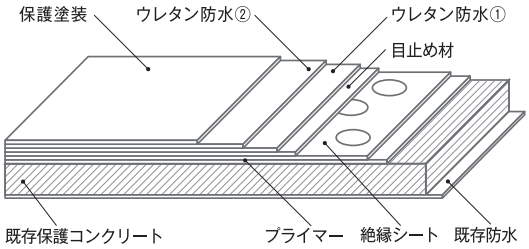
※ウレタン塗膜防水の例

Plusidea ベーシックメニュー

屋上防水工事

ウレタン塗膜防水（通気緩衝工法）

既存の防水層および保護コンクリートの上に、さらにウレタン塗膜により新規の防水層を形成し、漏水事故を未然に防ぎます。



工事の手順

1 高圧水洗浄

高圧水で洗浄し、粗汚れや表面の劣化した脆弱部を洗い流します。

2 伸縮目地処理

既存の目地材を撤去し、新たなシーリング材を充てんします。

3 絶縁シート

プライマー処理の後、下地からの湿気によるふくれや破断を防ぐため、通気と緩衝機能のある絶縁シートを貼ります。

4 脱気筒設置

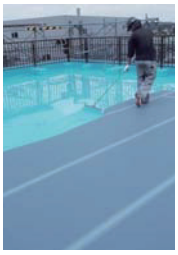
下地からの湿気を外部に逃がすための脱気筒を設置します。

5 改修用ドレン設置

既存のドレン目皿を取り外し、かぶせ工法で改修用ドレンを設置します。

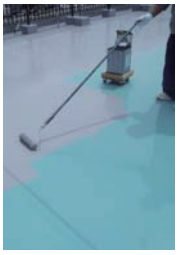
6 ウレタン塗膜防水

ウレタン防水材をコテやローラーで塗布し防水層を形成します。



7 防水保護塗装

紫外線から防水層を保護する塗料を塗布します。



※本資料は、マンションの修繕工事の一般事例の概略を掲載しています。※掲載の写真は参考事例です。実際とは異なる場合があります。
※各工事の作業内容、手順は、建物の状況、お見積り、ご契約、お打ち合わせ等により異なります。※詳細につきましては別途お問い合わせください。

お問い合わせは「くらしサポートデスク」へ

0120-264-406　受付時間／9:00～17:30（日祝日・年末年始除く）

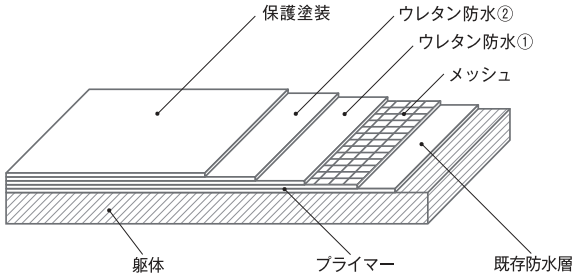
DAIKYO

Plusidea ベーシックメニュー

屋上防水工事

ウレタン塗膜防水（密着工法メッシュ入り）

既存の防水層が、ウレタン塗膜防水（通気緩衝工法）で改修されている場合は、メッシュで補強したうえでウレタン塗膜により新規の防水膜を形成します。築20年以上で２回目の防水改修工事で用いられる工法です。



工事の手順

1 高圧水洗浄

高圧水で、粗汚れや表面の劣化した脆弱部を洗い流します。

2 メッシュ貼り

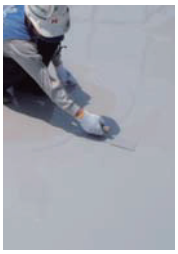
衝撃によるヒビ割れの抑制・補強・塗膜の確保のため、ガラス繊維の補強クロスを貼ります。

3 脱気筒設置

状況により下地からの湿気を外部に逃がすための脱気筒を設置します。

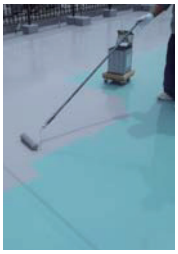
4 ウレタン塗膜防水

ウレタン防水材をコテやローラーで塗布し防水層を形成します。



5 防水保護塗装

紫外線から防水層を保護する塗料を塗布します。



※本資料は、マンションの修繕工事の一般事例の概略を掲載しています。※掲載の写真は参考事例です。実際とは異なる場合があります。
※各工事の作業内容、手順は、建物の状況、お見積り、ご契約、お打ち合わせ等により異なります。※詳細につきましては別途お問い合わせください。

お問い合わせは「くらしサポートデスク」へ

0120-264-406　受付時間／9:00～17:30（日祝日・年末年始除く）

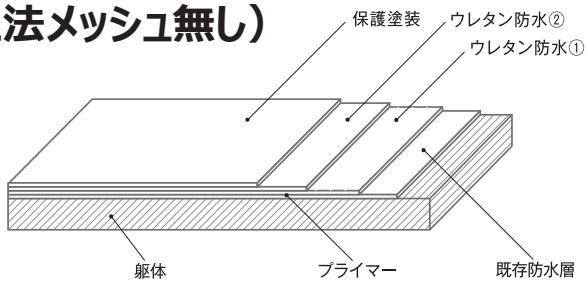
DAIKYO

Plusidea ベーシックメニュー

屋上防水工事

高強度高伸長型ウレタン塗膜防水（密着工法メッシュ無し）

既存の防水層が、ウレタン塗膜防水（通気緩衝工法）で改修されている場合は、ウレタン塗膜により新規の防水層を形成します。通常のウレタンに比べ高強度でありながら高い伸長性能を併せ持つ材料により、メッシュの不要な工法です。



工事の手順

1 高圧水洗浄

高圧水で、粗汚れや表面の劣化した脆弱部を洗い流します。

2 脱気筒設置

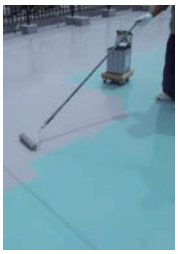
状況により下地からの湿気を外部に逃がすための脱気筒を設置します。

3 ウレタン塗膜防水

ウレタン防水材をコテやローラーで塗布し防水層を形成します。

4 防水保護塗装

紫外線から防水層を保護する塗料を塗布します。



※本資料は、マンションの修繕工事の一般事例の概略を掲載しています。※掲載の写真は参考事例です。実際とは異なる場合があります。
※各工事の作業内容、手順は、建物の状況、お見積り、ご契約、お打ち合わせ等により異なります。※詳細につきましては別途お問い合わせください。

お問い合わせは「くらしサポートデスク」へ

0120-264-406　受付時間／9:00～17:30（日祝日・年末年始除く）

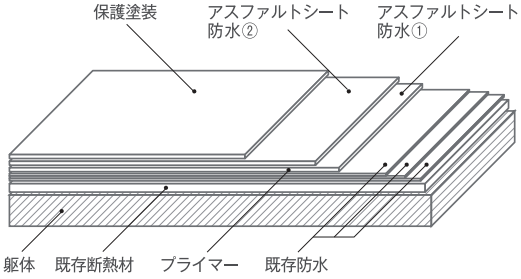
DAIKYO

Plusidea ベーシックメニュー

屋上防水工事

改質アスファルト防水（トーチ工法）

既存の屋上防水層がアスファルト系の露出防水の場合の工法です。シート状になった改質アスファルトに合成ゴムを混ぜたものを、バーナーで溶かしながら下地に貼付けていきます。



工事の手順

1 高圧水洗浄

高圧水で洗浄し、粗汚れや表面の劣化した脆弱部を洗い流します。

2 下地調整材塗布

既存防水層との密着性を高めるために、下地調整材を塗布します。

3 改修用ドレン設置

既存のドレン目皿を取り外し、かぶせ工法で改修用ドレンを設置します。

4 改質アスファルトシート貼付け

トーチバーナーでシートの裏面を加熱溶解しながら、下地と一体化するよう接着していきます。

5 立上がり部のシート貼付け

立上がり部分は、既存防水層を撤去し、新たに床面と同じように貼付けます。

6 防水保護塗装

紫外線から防水層を保護する塗料を塗布します。

※本資料は、マンションの修繕工事の一般事例の概略を掲載しています。※掲載の写真は参考事例です。実際とは異なる場合があります。
※各工事の作業内容、手順は、建物の状況、お見積り、ご契約、お打ち合わせ等により異なります。※詳細につきましては別途お問い合わせください。

お問い合わせは「くらしサポートデスク」へ

0120-264-406　受付時間／9:00～17:30（日祝日・年末年始除く）

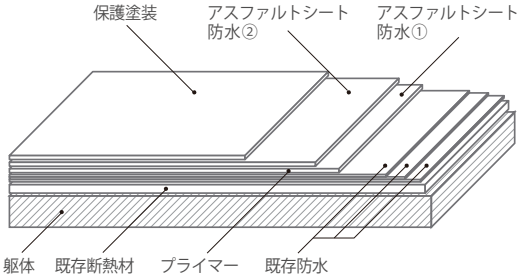
DAIKYO

Plusidea ベーシックメニュー

屋上防水工事

改質アスファルト防水（常温粘着工法）

既存の屋上防水層がアスファルト系露出防水の場合の工法です。『自着層』と呼ばれる強力な接着剤が裏面に塗布されたシートを、隙間なく密着しながら下地に貼付けていきます。



工事の手順

1 高圧水洗浄

高圧水で洗浄し、粗汚れや表面の劣化した脆弱部を洗い流します。

2 下地調整材塗布

既存防水層との密着性を高めるために、下地調整材を塗布します。

3 改修用ドレン設置

既存のドレン目皿を取り外し、かぶせ工法で改修用ドレンを設置します。

4 改質アスファルトシート貼付け

裏面に塗布されている『自着層』と呼ばれる強力な接着剤により、隙間なく接着していきます。

5 立上がり部のシート貼付け

立上がり部分は、既存防水層を撤去し、新たに床面と同じように貼付けます。

6 防水保護塗装

紫外線から防水層を保護する塗料を塗布します。

※本資料は、修繕工事の一般事例の概略を掲載しています。※掲載の写真は参考事例です。実際とは異なる場合があります。
※各工事の作業内容、手順は、建物の状況、お見積り、ご契約、お打ち合わせ等により異なります。※詳細につきましては別途お問い合わせください。

お問い合わせは「くらしサポートデスク」へ

0120-264-406　受付時間／9:00～17:30（日祝日・年末年始除く）

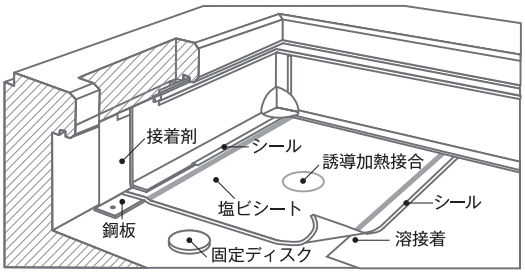
DAIKYO

Plusidea ベーシックメニュー

屋上防水工事

塩ビシート防水（機械固定工法）

既存の防水層を活かして、その上から補強繊維を積層して成形した塩ビシートを貼付ける工法。下地補修費が軽減できる、工期が短い等のメリットがあります。



工事の手順

1 絶縁シート敷設

下地からの湿気によるふくれや破断を防ぐため、絶縁シートを敷きつめます。

2 固定ディスク（円盤状金具）取付け

絶縁シートの上から躯体コンクリートにアンカープラグを打ち込み、固定ディスクをステンレスピンで取付けていきます。

3 脱気筒設置

下地からの湿気を外部に逃がすための脱気筒を設置します。

4 接合部融着

塩ビシートの接合部は専用の溶剤融着もしくは熱融着ですき間のないよう処理します。

5 塩ビシート固定

塩ビシートをひろげ、固定ディスクの上から誘導加熱装置で熱を加え、シートを金具に熱融着させます。

※本資料は、マンションの修繕工事の一般事例の概略を掲載しています。※掲載の写真は参考事例です。実際とは異なる場合があります。
※各工事の作業内容、手順は、建物の状況、お見積り、ご契約、お打ち合わせ等により異なります。※詳細につきましては別途お問い合わせください。

お問い合わせは「くらしサポートデスク」へ

0120-264-406　受付時間／9:00～17:30（日祝日・年末年始除く）

DAIKYO